

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	老人福祉事業経費	事業番号	70

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5	高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

## 2 事務事業の目的

目的	地域包括ケアシステム構築のため、高齢者の積極的な外出や社会参加、安定した生活本拠への措置などへの支援を行い、高齢者が安全・安心に生活する環境を整える。
成果	長寿のお祝い、福祉バスによる外出支援、老人クラブへの補助、老人ホーム措置などにより高齢者の豊かな生活への支援を行い、より住みやすいまちを目指す。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
R2								
R3	100歳祝い・米寿祝い・福祉バス借上・老人クラブ連合会補助・単位老人クラブ補助・高齢者福祉事業団補助・老人ホーム利用負担金補助・老人ホーム措置費							
R4	100歳祝い・米寿祝い・福祉バス借上・老人クラブ連合会補助・単位老人クラブ補助・高齢者福祉事業団補助・老人ホーム利用負担金補助・老人ホーム措置費							
R5	100歳祝い・米寿祝い・福祉バス借上・老人クラブ連合会補助・単位老人クラブ補助・高齢者福祉事業団補助・老人ホーム利用負担金補助・老人ホーム措置費							
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			129,762	136,250	143,062	409,074	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			4,059	4,059	4,059	12,177
		地方債						
		その他			27,597	27,597	27,597	82,791
	一般財源			98,106	104,594	111,406	314,106	
	人員(人工)			0.42	0.42	0.42	1.26	
職員費(人員×7,704千円)			3,236	3,236	3,236	9,668		
総事業費			132,998	139,486	146,298	418,742		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	老人ホーム措置者数	75人	75人	75人
	老人クラブ会員数	1,386人	1,400人	1,400人

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	100歳祝金・米寿祝い～根室市から長寿を祝い、高齢者の活力となる。 福祉バス借上料～高齢者等の外出をバス借上により支援し、社会参加や学習機会の増加、親睦を深める。 社会福祉施設措置納付金補助金～老人ホーム利用者の自己負担金を補助し、経費負担を軽減する。 老人クラブ連合会補助・運営費補助～老人クラブ連合会及び単位老人クラブ運営費を補助し、その活動を支援する。 高齢者福祉事業団補助～高齢者福祉事業団を補助し、活動を支援する。
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない いずれも、高齢者の豊かな生活に必要であり、ニーズは高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 地域包括ケアシステムの一環となる事業であり、市が行うべき。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない お祝い該当者に確実に贈る、高齢者団体等のニーズに合わせてバス借上げ、老人クラブ等の活動により補助金交付など、時期を見計らう事業が多く、緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある いずれも、高齢者等の現状に即した補助、移動手段確保のための借上等であり、手法は適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 100歳祝・米寿祝～対象は限られるが、規定の年齢になることで市内全ての高齢者が受けられることから、公平である。 福祉バス～利用できる団体等が限られていることから、概ね公平である。 老人クラブ連合会補助・運営費補助～老人クラブ連合会及び単位老人クラブを補助することから、市内全体の高齢者を補助しており公平である。 高齢者福祉事業団補助～利用を申請することで市内の誰もが各種業務で利用できることから、公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 従来より取り組まれている事業であるが、長寿のお祝いや移動手段の確保、老人クラブ活動の補助など、事業の有効性は高い。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、高齢者が住み慣れた街に住み続けられるよう、適正な事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適切 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 今後も高齢者の増加が見込まれ、老人ホーム措置、老人クラブ連合会等への補助等、ニーズが高まることから、計画通り着手し、高齢者の生活支援に努める。

作成年月

令和3年6月